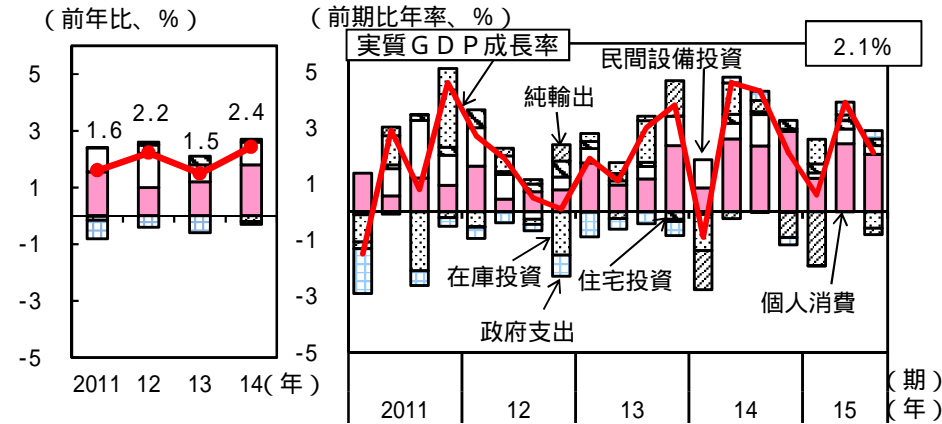


1. アメリカ

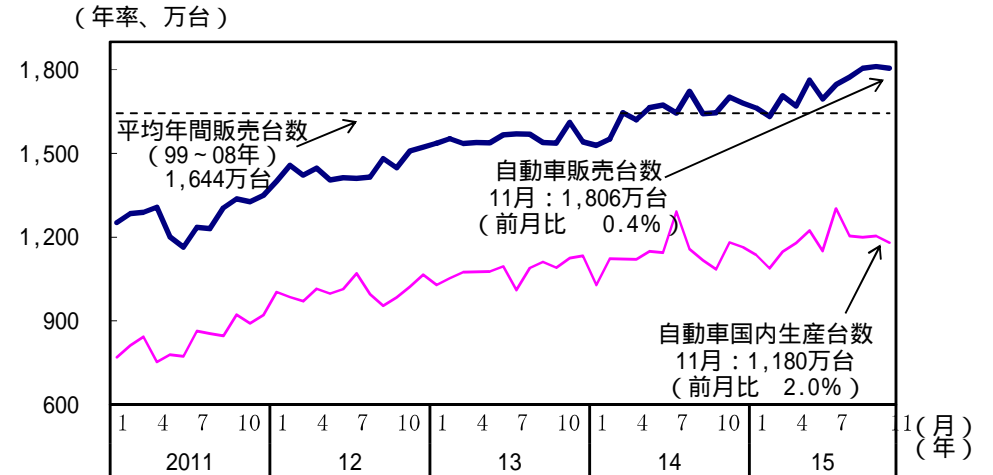
アメリカでは、景気は回復が続いている。

実質GDP成長率（2次推計値）
2015年7 - 9月期は前期比年率2.1%成長

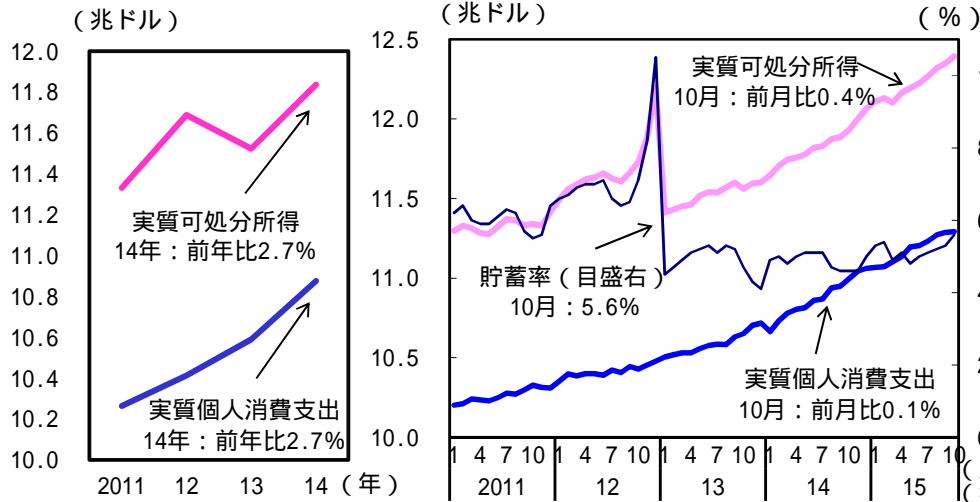


(備考) 2015年7 - 9月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：2.1、民間設備投資：0.3、住宅投資：0.2、在庫投資：0.6、政府支出：0.3、純輸出：0.2。

自動車販売台数は増加傾向

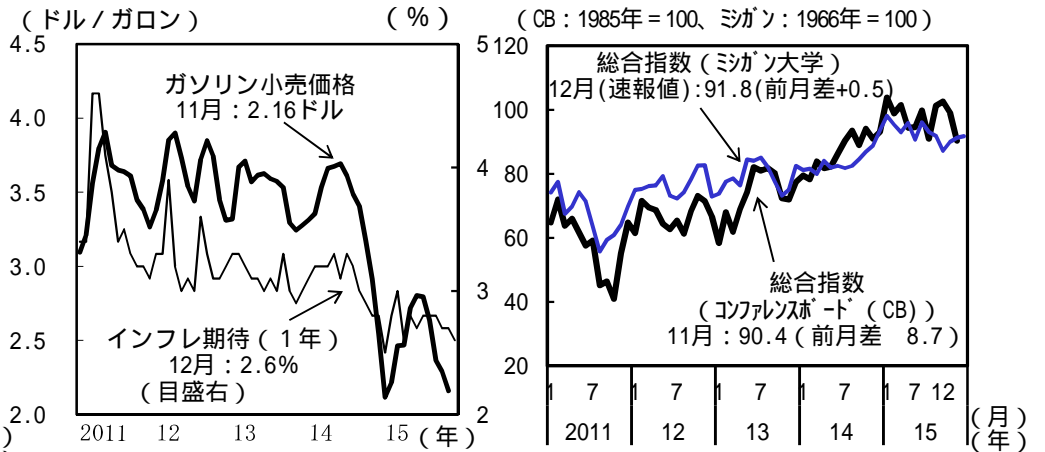


消費は増加



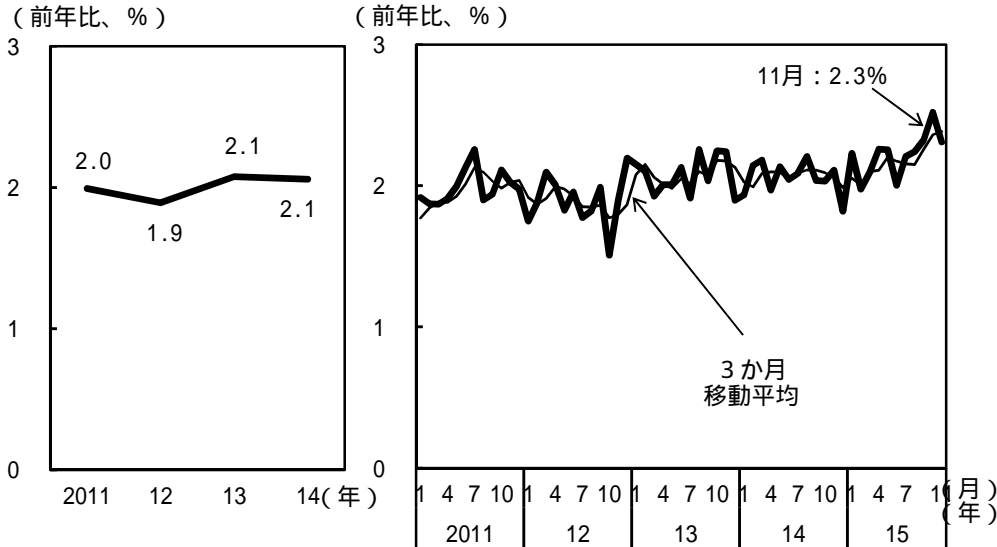
(備考) 月次の値は年率換算。

消費者信頼感指数はこのところ低下



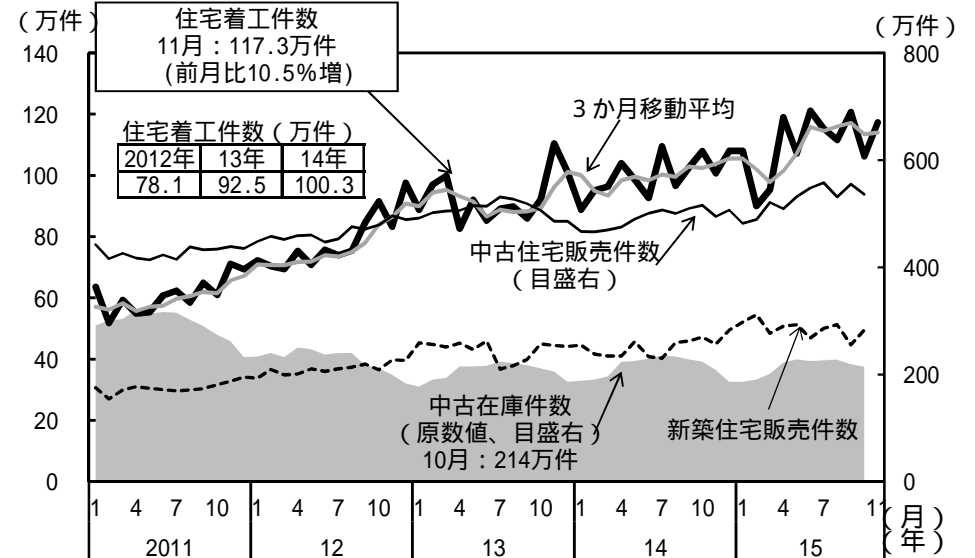
(備考) 1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

賃金の伸びはやや高まっている



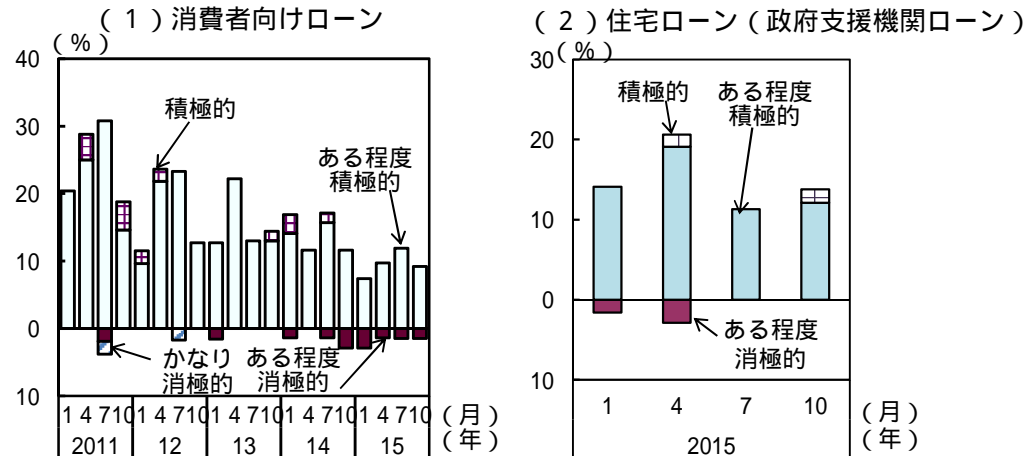
(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

住宅着工は緩やかに増加



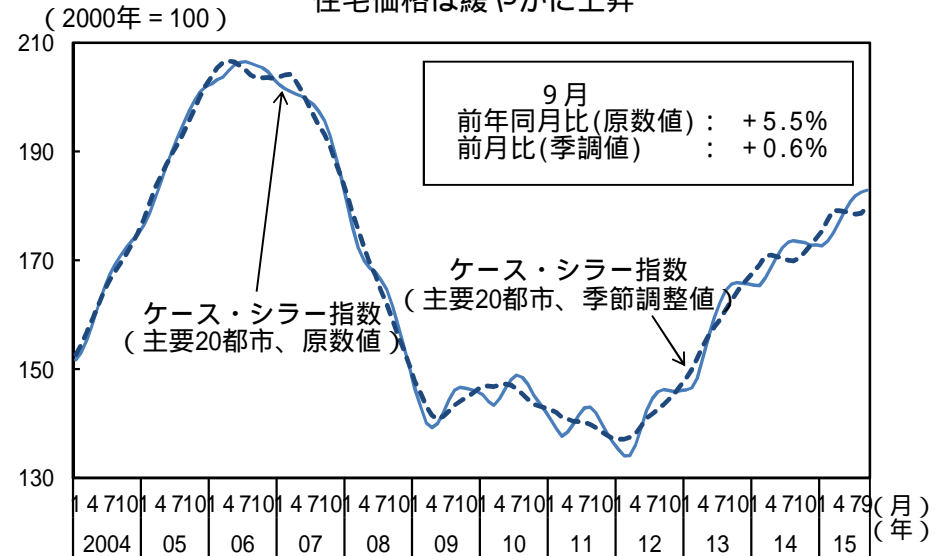
(備考) 1. 住宅着工件数、新築住宅販売件数、中古住宅販売件数は年率換算。
2. 15年10月の販売件数に対する中古在庫の割合は4.8ヵ月分。

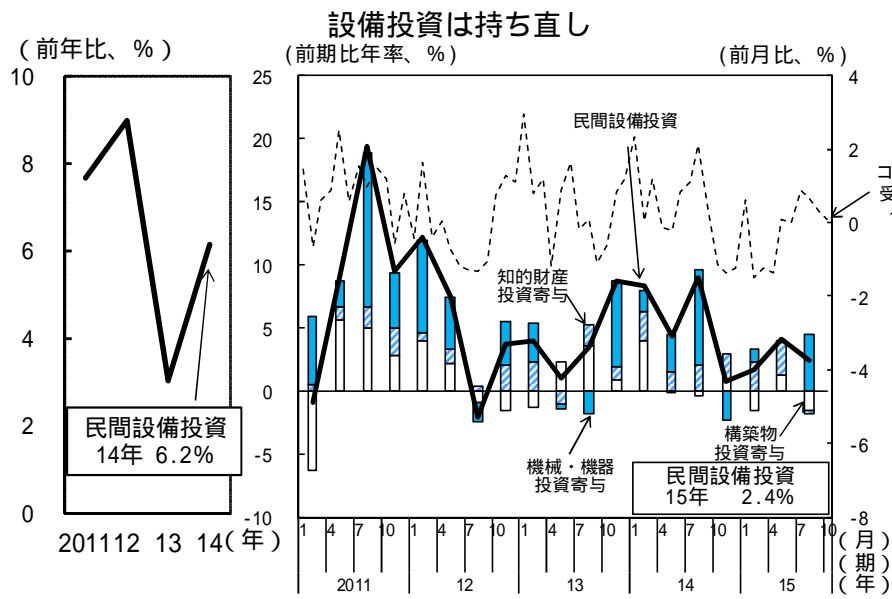
金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度は緩和傾向



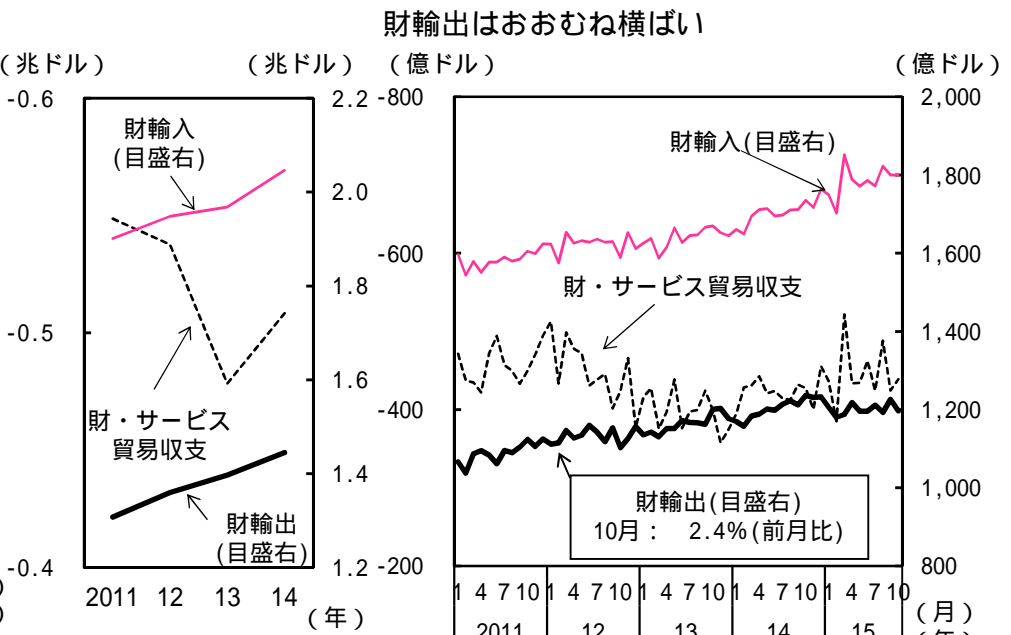
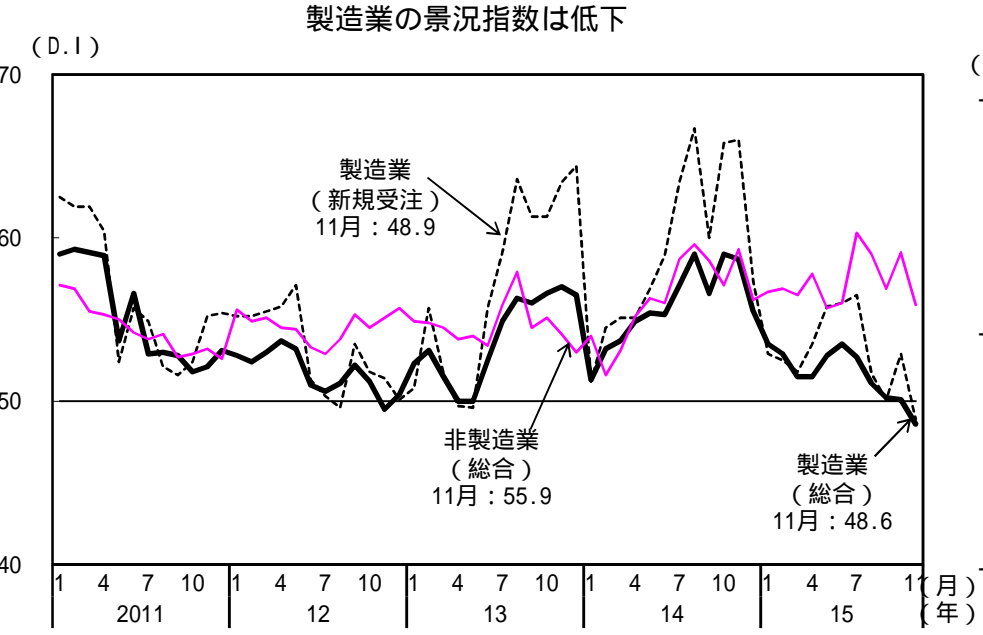
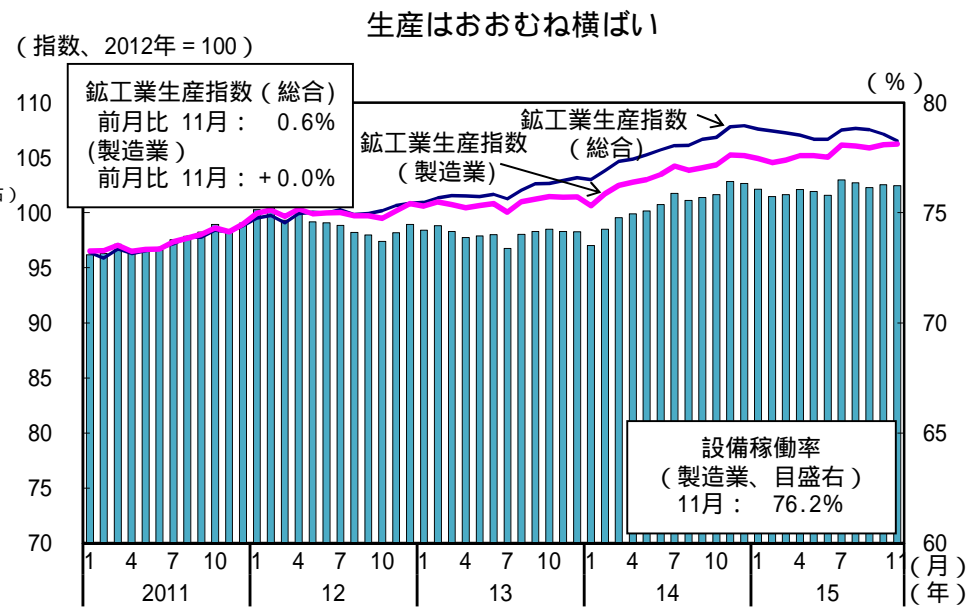
(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(政府支援機関ローン)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 「変化なし」の回答は含めていない。
3. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。
4. 住宅ローンについては15年1月より調査内容が変更。

住宅価格は緩やかに上昇



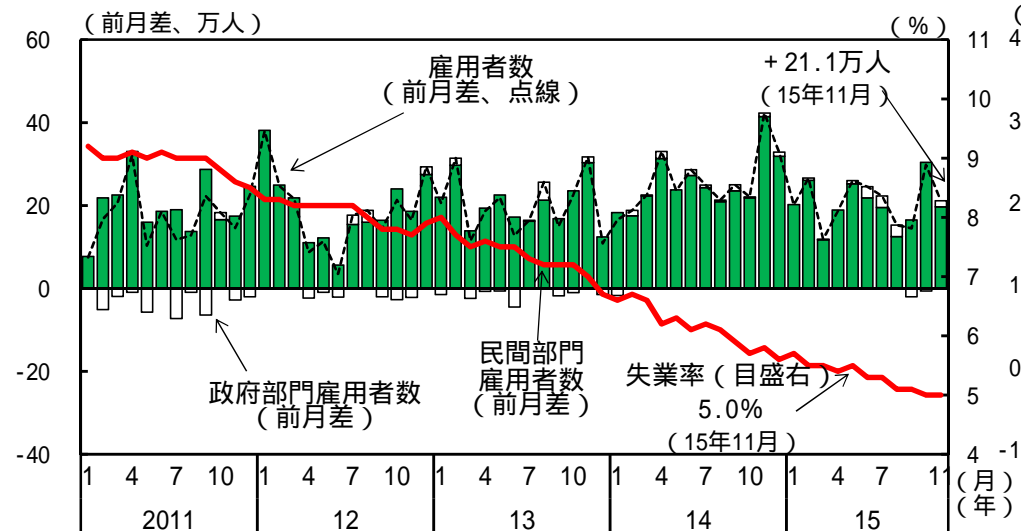


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。



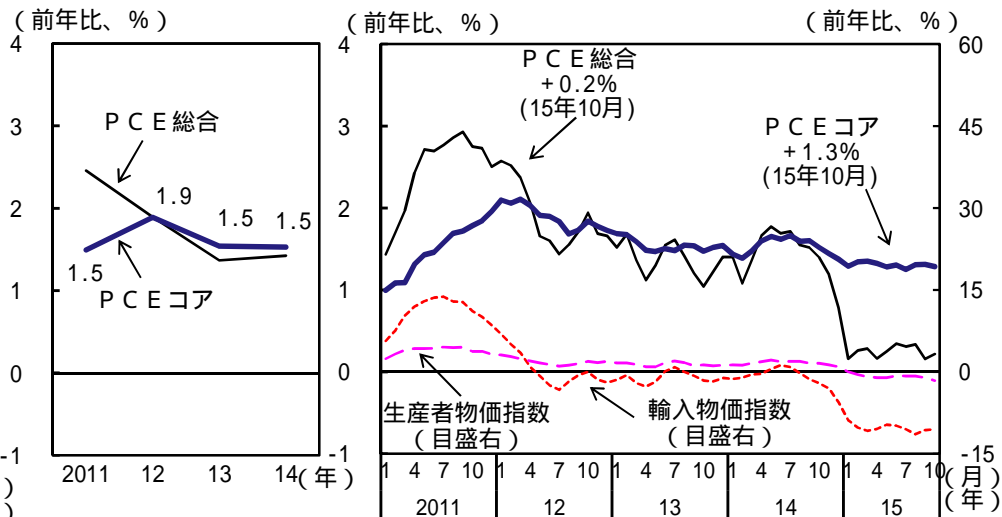
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増加しており、失業率は低下している



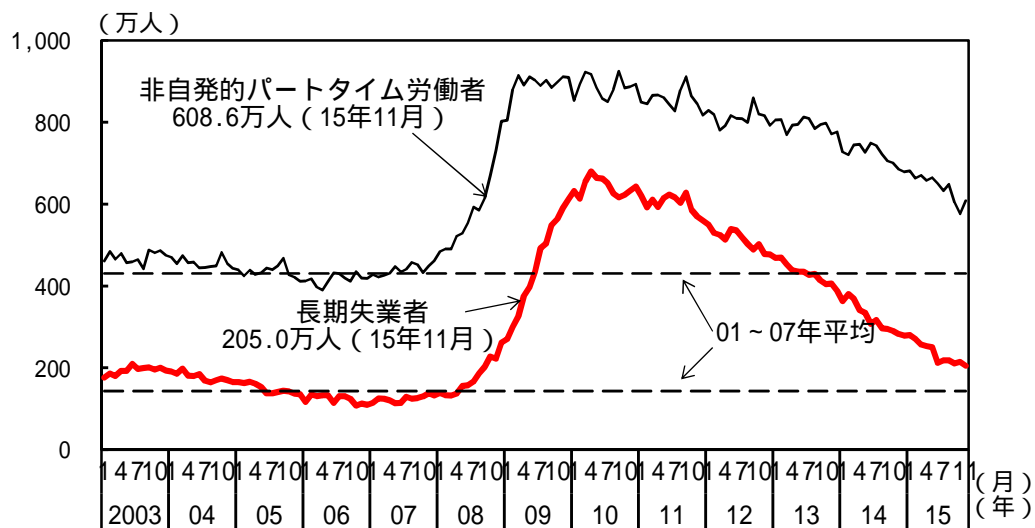
(備考) 雇用者数は非農業部門。

コア物価上昇率はおおむね横ばい



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

長期失業者は緩やかに減少



FEDのバランスシート (資産サイド)

